

東京都福祉サービス評価推進機構

公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 102-0083

所在地 東京都千代田区麹町1-5-4-712

評価機関名 株式会社 ケアシステムズ

認証評価機関番号

機構 06 - 167

電話番号 03-3511-5035

代表者氏名 和田 俊一



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		修了者番号
	①	澤村 明子	H1101015
	②	平田 容子	H1301024
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
福祉サービス種別	認可外保育施設（ベビーホテル等）		
評価対象事業所名称	しいのみ保育園		
利用形態（複数選択可） (該当する形態を選択)	<input checked="" type="checkbox"/> 月極保育 <input checked="" type="checkbox"/> 時間預かり（一時預かり）保育		
事業所連絡先	〒	140-0004	
	所在地	東京都品川区南品川2-15-14	
	TEL	03-6433-1604	
事業所代表者氏名	施設長 川西 和弘		
契約日	2019年 10月 25日		
利用者調査票配付日(実施日)	2019年 11月 12日		
利用者調査結果報告日	2020年 2月 4日		
自己評価の調査票配付日	2019年 11月 12日		
自己評価結果報告日	2020年 2月 4日		
訪問調査日	2020年 2月 7日		
評価合議日	2020年 2月 7日		
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	第三者評価を行うにあたり、職員自己評価と保護者アンケートをはじめ、事前資料や訪問調査当日の書類確認など多面的な情報収集に努めた。また、職員からも評価項目ごとにチェックが入れられる評価シートを用い、集計報告書に反映させた。訪問調査では、園内見学、保育場面の見学、経営層・専門職などからのヒヤリングを実施した。第三者性確保については、当評価機関と事業者との間には特別な関係は存在せず、中立公正な立場で調査を実施した。		

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- ① 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

事業者代表者氏名

施設長 川 西 和 弘

2020年 3月 3日
印

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>1)安らぎと楽しさ、個性を引き出す保育 2)保護者が気軽に意見、要望を出せる保育 3)職員の資質の追及・より良い労働条件の保全 4)五感を育み、感受性豊かで健全な心身の発達を図る。 5)家庭や地域社会との連携を図り、保護者の協力のもと、家庭教育の補完を行う。</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>業務ノウハウの吸収を図り、与えられた業務を効率的に遂行する。 自ら進んで担当職務範囲の拡大に取り組む。 同僚と協力して業務を行う。 同僚と連携して業務を行うとともに、後輩職員の指導・育成を行う。 自分の立場、自分の仕事に固執せず、他者ともよく協力し信頼を得る。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>職場の向上のために、周囲に自ら提案し、働きかける。 自分の仕事に関する知識、技能向上のために、自主的に研修会などへ参加する。 誰にでも平等に接する。</p>

調査対象

調査日現在、本園の全19世帯(利用者総数19名)を調査対象とし、15名より回答を得た。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱い、当園に複数名園児を預けている場合は、一番低年齢の園児に対しての回答とした。

調査方法

アンケートは、QRコードを付した依頼文を配付し、評価機関に直接電送してもらう方法と、アンケート用紙を園にて配付してもらい回答は返信用封筒にて評価機関に直接送付してもらう方法の2種類で実施した。

利用者総数

19

利用者家族総数(世帯)

19

共通評価項目による調査対象者数

19

共通評価項目による調査の有効回答者数

15

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

78.9

利用者調査全体のコメント

総合的な満足度に関する調査の結果は、全員の対象者が「大変満足」または「満足」と回答しており、大変高い満足度が得られている。

項目別では、<保育サービス>に関する8設問は、高い満足度であった。特に「子どもの発達への有用性」「園活動への子どもの関心度」「安全対策への取り組み」では、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

<安心・快適性>についての4設問は、すべて大変高い満足度であった。特に「職員の接遇や態度」では、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

<利用者個人の尊重>についての3設問は、すべて大変高い満足度であった。特に「子どもの気持ちを尊重した対応」「プライバシーへの配慮」では、93.3%の大変高い満足度が得られている。

<不満・要望への対応>では、「不満や要望への対応」について、全員が「はい」と回答する大変高い満足度が得られている。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育施設での活動は、子どもの心身の発達に応じたものとなっているか 全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「成長に合わせた遊びをしてくれます」、「テーマや目的に沿った育児があれば是非お願いしたい」という声が聞かれた。	15	0	0	0
2. 保育施設での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか 全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「創意工夫した内容で、子どもが意欲的に遊んでいるので満足です」という声が聞かれた。	15	0	0	0

3.【保育施設からの食事提供を受けている方のみ】 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	14	1	0	0
「はい」が92.9%、「どちらともいえない」が7.1%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「年中りんごが提供されていますが、季節に応じた果物が新鮮で美味しいと良いのでは無いかと思います」という声が聞かれた。				
4. 保育施設の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	11	4	0	0
「はい」が73.3%、「どちらともいえない」が26.7%であり、高い満足度であった。自由意見では「子どもが飽きないように沢山の公園に行き、四季折々の花の名前や関連することを教えてくれると思っています」、「真冬でも天気の良い日は外に出て遊ばせると嬉しいです」、「行事がほとんど無く、夏場に公園で水遊びのできない日が多かったのが気になる」という声が聞かれた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「とても柔軟に個別に対応してくれます」、「職員数の関係で早めの預かりや遅れる時の対応が難しいと感じました」という声が聞かれた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	15	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「気になることはないので問題ないと思います」という声が聞かれた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「前もってお知らせが来るなど配慮されていると感じます」という声が聞かれた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育施設に信頼関係があるか	13	2	0	0
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「とてもよく相談に乗ってくれます」、「職員と話す機会は少ないと感じる」という声が聞かれた。				

9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「他の保育園と比べても、とても綺麗だと思います」、「清潔感がある」、「スペースの問題があるかとは思いますが、ちりとりがいつも入口に置いてあるのがやや気になります」という声が聞かれた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	15	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「動きやすい服装で問題ないと思います」という声が聞かれた。				
11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	2	0	0
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「職員により対応の異なることはあるが、状態を確認してから回答しているので問題ないと思います」、「子どもが顔にケガをした時に説明のないことがあった」という声が聞かれた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	12	1	0	2
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が6.7%、「無回答・非該当」が13.3%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「まだそのようなことはありませんが、その時は信頼できると思います」という声が聞かれた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「職員が常に子ども一人ひとりに向き合い、寄り添って保育をしている様子が伝わってくる」、「子どもの思いを尊重してくれる」、「全ての先生が子どものことをよく知っていて、愛情を持って接していると感じます」という声が聞かれた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	14	1	0	0
「はい」が93.3%、「どちらともいえない」が6.7%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「個人的なことを聞いたことがありませんので、守ってくれていると思います」という声が聞かれた。				

15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	12	3	0	0
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が20.0%であり、大変高い満足度であった。自由意見では「園のルールがたまに変わりますが、職員により言うことが違うので混乱することがある」という声が聞かれた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	15	0	0	0
全員が「はい」と回答しており、大変高い満足度であった。自由意見では「要望や質問に対してレスポンスが早い」という声が聞かれた。				
17. 外部の苦情窓口(行政等)にも相談できることを伝えられているか	9	1	1	4
「はい」が59.9%、「どちらともいえない」が6.7%、「いいえ」が6.7%、「無回答・非該当」が26.7%であった。自由意見では「機会が無かったからだと思いますが、特に伺っていません」という声が聞かれた。				

I サービス提供のプロセス項目（サブカテゴリー1～3、5～6）

No.	共通評価項目		
1	サブカテゴリー1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5／5
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している			
評点(○○○○○)			
評価 標準項目			
◎あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	○非該当	
◎あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	○非該当	
◎あり ○なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、行政機関等相談先に関する情報の提供をしている	○非該当	
サブカテゴリー1の講評			
法人のホームページの他、複数のサイトで情報を得ることができる 法人のホームページの他、複数のサイトで園の情報を得ることができる。また、入園のしおりを区役所に常置したり、ホームページには保育理念、保育目標などを掲載して、入園を希望する保護者への情報提供に取り組んでいる。各種の媒体には、定員、住所、電話番号、施設長及び主任名などの基本情報と案内図、行事予定を確認することができる。さらに、保育の様子などの情報を盛り込むことも望まれ、今後の取り組みが期待される。ホームページについては更新頻度を多くして、園独自の情報も発信されるとよいと思われる。			
見学希望者が見たい時間帯に見学ができるようにしている 基本的には区の入園相談の部署にリーフレットを設置しており、区からの連絡や直接園に入園希望などの問い合わせがあった場合には、その都度対応することにしている。また、年間を通して園見学には対応しており、メールでの問い合わせを受けた際には主任を窓口として迅速に回答することにしている。見学希望者は見学日時を調整する際には、「給食場面を見たい」「散歩に同行したい」などの希望にも柔軟に個別対応しており、希望者の見たい時間に見学ができるようにしている。来訪者については来訪者受け付けや園日誌に記録している。			
サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6／6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている			
評点(○○○)			
評価 標準項目			
◎あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当	
◎あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
◎あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている			
評点(○○○)			
評価 標準項目			
◎あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当	
◎あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当	

◎あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当																	
サブカテゴリー2の講評																			
<p>「入園のしおり」で基本的ルールや重要事項を丁寧に説明している 入園前には説明会を開催しており、「入園のしおり」に基づいて園のルールや重要事項について説明し、保護者の署名をもらっている。登降園、発病時、薬の取り扱いなどについての園ルール、事故発生時の対応、連絡、個人情報の取り扱いなどについて丁寧に説明することに努めている。さらに、「ご意見・ご要望を解決するための仕組みについて」として、苦情解決責任者や受け付け担当者、第三者委員の氏名や連絡先を明示するとともに、苦情解決の流れについても記載して理解を深めてもらえるようにしている。</p> <p>近隣保育園と連携して、当保育園卒園後に通う保育園を確保している 当保育園は0歳児から2歳児までを保育している。3歳児になると別の保育園に通うことになるが、全員が必ずどこかの保育園に行けるように法人の保育園を含む近隣5園と連携している。また、年度途中の入退園に関しては、区としての受け入れ手順や方法に沿って対応している。さらに、個別事情を踏まえ職員間で話し合いを持ち、共通理解と対応の統一に努めている。</p>																			
サブカテゴリー3																			
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12																	
<p>評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別サービス場面ごとに明示している 評点(○○○)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																		
◎あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																	
<p>評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(○○○○○)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																		
◎あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況(保護者の意向を含む)の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																	
<p>評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(○○)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 5px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 5px;">標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 5px;">◎あり ○なし</td> <td style="padding: 5px;">2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td> <td style="text-align: center; padding: 5px;"><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当	◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																		
◎あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当																	
◎あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当																	
<p>評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(○○)</p>																			

評価		標準項目																													
◎あり	○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当																												
◎あり	○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当																												
サブカテゴリー3の講評																															
<p>児童調査書、健康記録などにより子どもの状況を把握している</p> <p>入園時には児童調査書や健康記録の提出を依頼している。また、入園時の面談においては、「新入園児面談記録」において、0歳児については、好きな遊びや落ち着く玩具、歌などについて聞き取り、どのように眠りに入るか、保育上、配慮すること、心配なこと、泣いたときの対応の仕方、ミルク・離乳食についてなど細かく聞き取っている。さらに、1・2歳児についても、歩行、排泄、食事の状況や、子どもの生活、入眠の仕方などについて聞き取って子ども一人ひとりの状況を把握している。</p> <p>全体的な計画に基づき、年間指導計画、月案、週案、日案を作成している</p> <p>法人理念、保育方針、保育目標を踏まえ全体的な計画を作成している。年間指導計画、月案、週案、日案と落とし込み、子どもの成長など実態に合わせて、反省・評価しながら次の計画につなげるようにしている。2歳児までの全児童について、法人として統一している書式で職員が個別の計画を作成している。さらに、月案、週案、日案、保育日誌について書く上でのポイントを記載した「保育書類 書き方マニュアル」を法人として作成しており、誰が書いてもねらいを外さない計画や日誌になっていると思われる。計画は年度末に総括をしている。</p> <p>子ども一人ひとりの個別記録を作成し、子どもの情報は職員間で共有している</p> <p>子ども一人ひとりについて個別月案を作成しており、例えば2歳児の場合「ねらい」として「トイレに行き、便座に座って排尿することに慣れる」「環境設定・援助・配慮」として便座に座って排尿し、排尿の成功体験を増やすことで自信を持ち、パンツへの移行につなげていくなどと記載し、計画についての反省・評価を行っている。「保育書類 書き方マニュアル」に基づき、計画を立てており、適切な計画になっていると思われる。また、ICT化により、職員はパソコン内で子どもの情報を共有している。</p>																															
サブカテゴリー5																															
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5																												
<p>評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している</p> <p>評点(○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価</th> <th colspan="2">標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり</td><td>○なし</td><td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり</td><td>○なし</td><td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table> <p>評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している</p> <p>評点(○○○)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">評価</th> <th colspan="2">標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり</td><td>○なし</td><td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり</td><td>○なし</td><td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> <tr> <td>◎あり</td><td>○なし</td><td>3. 虐待防止や育儿困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td><td><input type="radio"/>非該当</td></tr> </tbody> </table> <p>サブカテゴリー5の講評</p> <p>個人情報の取り扱いについては、入園時に文書で同意を得ている</p> <p>「個人情報の使用に係る承諾について」という文書を作成しており、入園時に説明したうえで、保護者の署名捺印をもらっている。承諾書には、転園する場合、緊急時、ホームページへの写真の掲載などについて同意を得ており、削除の依頼にも応じる旨を記載している。また、個人情報が記載してある文書は、事務所のカギのかかるロッカーにて保管をしている。さらに、子どもの情報を外部とやりとりする際には、その都度確認を得ることにしている。</p> <p>着替え時や排泄時には他から見えないような配慮をしている</p> <p>夏には、外で湯遊びをすることがあるが、その際は日よけネットで周囲から見えないようにするとともに、シャワーの時にはさらに職員が壁になるように配慮している。また、必要に応じて窓のカーテンを開めるなど外部から見えないようにするなど環境を整えるようにしている。また、職員が子どもの権利擁護に関する研修を受講して、理解を深めており、職員会議で職員間での共有を図っている。</p> <p>入園時に把握した生活習慣などに配慮した援助に努めている</p> <p>子どもと保護者の生活状況などは入園時に入園面談シートなどで把握しており、各家庭、子どもの生活習慣などに配慮して援助している。登園時には必ず子ども一人ひとりに声をかけ、明るく受け入れて視診を行うことにしている。朝起きるのが遅い子どももいるが、家庭と連携しながら、徐々に生活リズムを整えていくように援助している。また、虐待防止など子どもの権利擁護については、入職時に研修を実施するほか、職員会議の中で勉強会も実施して、職員の意識を高めている。</p>				評価		標準項目		◎あり	○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり	○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	評価		標準項目		◎あり	○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	◎あり	○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	◎あり	○なし	3. 虐待防止や育儿困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
評価		標準項目																													
◎あり	○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当																												
◎あり	○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当																												
評価		標準項目																													
◎あり	○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当																												
◎あり	○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当																												
◎あり	○なし	3. 虐待防止や育儿困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当																												

サブカテゴリー6		
6	事業所業務の標準化	
	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	5/5	
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当
◎あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	○非該当
◎あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当
サブカテゴリー6の講評		
職員が保育するうえで必要な事項を網羅したマニュアルを作成している 職員の心得、屋内の保育、屋外の保育、食事、排泄、長時間保育、延長保育などの事項について網羅したマニュアルがあり、職員に配布するとともに、いつでも閲覧できるようにしている。内容は「保育室などは子どもが活動に入る前に整理整頓し、環境の安全を確認する」「固定遊具使用の際は、必ず保育士がつく」など具体的である。また、「保育書類 書き方マニュアル」では、月案、週案、日案・保育日誌、連絡帳について書き方のポイントと見本まで掲載されており、大変分かりやすく、記録の標準化につながると思われる。 マニュアル等については、各部会などで見直している 法人として月1回の園長会議、主任会議において意見交換をしており、援助方法などについても話し合っている。また、栄養士部会、保健部会等各部門においても部門のマニュアルを見直している。監査などがきっかけとなることが多いが、子どもの様子をよく分かっている現場からの声も吸い上げており、職員が使いやすいうように改定を行っている。日々の保育については、園長や主任が中心となって助言・指導し、保育の質の向上に取り組んでいる。		

II サービスの実施項目(サブカテゴリー4)

サブカテゴリー4		
サービスの実施項目	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	
	37/37	
評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		
評点(○○○○○)・非該当1		
評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当
◎あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当
◎あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当
◎あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当
◎あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当

<input type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	6.【5歳児が利用している保育施設のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携を図っている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目1の講評																					
<p>子どもの全体像を把握し、個別の保育計画にもとづき保育を実施している</p> <p>入園前に個人面談を行い、面談記録シートをもとに子どもの性格や入眠のしかた、保育上配慮すること、さらに〇歳児はミルクや離乳食の情報などを細かく聞き取り、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで個別の保育計画を作成し、定期的に振り返りを行いながら保育を行っている。アレルギー児に関しては看護師・栄養士・主任・担任・施設長と共に保護者と面談し、必ず看護師も参加して毎月のアレルギー会議で確認しながら対応している。</p> <p>子ども同士のトラブルは相手の思いを伝えていけるような関りを持ちながら援助している</p> <p>年齢によりトラブルの内容は異なるが、基本的には子どもが自分の気持ちを伝えようとする大切な機会だとしている。また、「かみつき」などを未然に防ぐよう、心配のある場合は1対1で職員が対応するなどの配慮を心がけている。その際には両方の気持ちを聴き取りそれぞれの子どもとの気持ちに寄り添うこととしている。時には職員が仲立ちしながら「貸して」など必要な言葉を伝えたり、思い通りにならない思いを受け止め、相手の思いを伝えていけるよう関りを持ちながら援助している。</p>																					
2 評価項目2																					
<p>子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている</p> <p style="text-align: right;">評点(○○○○)</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目	<input type="radio"/> あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> なし		<input type="radio"/> あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> なし		<input type="radio"/> あり	3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> なし		<input type="radio"/> あり	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> なし	
評価	標準項目																				
<input type="radio"/> あり	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している																				
<input type="radio"/> なし																					
<input type="radio"/> あり	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している																				
<input type="radio"/> なし																					
<input type="radio"/> あり	3. 休息・午睡等の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している																				
<input type="radio"/> なし																					
<input type="radio"/> あり	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている																				
<input type="radio"/> なし																					
評価項目2の講評																					
<p>登園時、降園時には子どもの様子を保護者と共有できるように努めている</p> <p>登園時は保護者に家庭での子どもの様子を確認するとともに連絡ノートを活用して、食事や睡眠、排せつなどの状況を細かくやり取りし、保護者と共有している。保護者からの連絡や引き継ぎ時の伝達事項、12時と17時の子どもの在籍確認チェックなどはパソコン内の登降園表に入力し、全職員が確認できるようにしている。降園時には連絡帳に書いた内容以外にも楽しんでいたこと、成長したことなど日中の子どもの様子を保護者に伝えるよう心がけている。</p> <p>個別のペースに合わせ無理強いせず生活習慣が身につくよう援助している</p> <p>子どもたち一人ひとりの成長・発達に合わせた配慮や援助を行い、基本的な生活習慣を身につけていけるような保育をしている。トイレトレーニングは保護者と連携して同じタイミングで進めることとし、毎日保育中の排尿回数を記入して健康面の管理も含め、保護者に伝えられるようにしている。洋服の着替えは一人ひとり職員がついて一緒にい、自分でできたという意欲を高められるような声かけをし、自然と身につくような関りをもちながら援助している。</p> <p>子どもの様子を把握し一人ひとりに合わせて午睡時間の長さを調整している</p> <p>午睡は年齢や健康状態、家庭での生活リズムを考慮して、一人ひとりの子どもの状況に合わせて午睡時間の長さを調整している。活動時に眠くなってしまう場合があるが、そのような時には15~30分程度の休息時間をとり、その後の活動に機嫌良く参加できるように配慮している。また、午睡時に目が覚めた時にそばに付き添い、必要であれば再入眠できるようにして徐々に保育園のサイクルに対応できるよう家庭と連携している。</p>																					
3 評価項目3																					
<p>日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している</p> <p style="text-align: right;">評点(○○○○○○)</p>																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>あり</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/>なし</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目	<input type="radio"/> あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> なし		<input type="radio"/> あり	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している	<input type="radio"/> なし		<input type="radio"/> あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> なし					
評価	標準項目																				
<input type="radio"/> あり	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている																				
<input type="radio"/> なし																					
<input type="radio"/> あり	2. 子どもが人と関わる力を養えるよう援助している																				
<input type="radio"/> なし																					
<input type="radio"/> あり	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している																				
<input type="radio"/> なし																					

◎あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	5. 子どもの心身の発達が促されるよう、戸外・園外活動(外気浴を含む)を実施している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもが自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

子どもの成長・発達段階に合わせ、時期を見計らい物的環境の設定を行っている

子どもが一人遊びをじっくりできるような環境や、自分で遊びたいものや場所などを自由に探して遊べる環境設定になるよう棚を使用してコーナー分けをするなど工夫している。また、職員が関わる時にも、まずは子どもの主体性を損なうことがないよう配慮している。生活や遊びの中で自身の気持ちを上手く切り替えることができない時や、それを言葉で十分に表現できない時は、その気持ちを代弁して共感していくながら気持ちを調整できるように関わっている。

子どもが自主的に一人でまた集団の中で遊びに関われるよう配慮している

保護者以外の大人との関わりを広げていけるように、先ずは担任や担当職員との愛着関係の構築に努め、それを軸に少しずつ広げていけるような関わりを心がけている。園以外では、散歩や公園への戸外活動の際に近隣の方への挨拶や、地域のお祭りを見に行き雰囲気を味わうなどしている。また、公園での他の園児との子ども同士の関りや地域交流でのイベントを通して子どもが人と関わる力を成長や発達段階を踏まえて養えるよう援助している。

4 評価項目4

日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(○○○)

評価		標準項目	
◎あり ○なし		1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし		2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし		3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4の講評

乳児が出来る範囲の行事を考え楽しく参加できるように工夫し実施している

2歳児までの園なので、年間行事については、おおまかに日本の四季や主な行事を取り入れるようにし、その年の子どもたちの成長・発達などに合わせて内容を調整することで、雰囲気を楽しめるようにしている。子どもの行事は端午の節句の集い、七夕、夏の水遊び、クリスマス会、お正月遊び、節分の集いなどがあり、全園児で歌や踊り、絵本読みなどを行い、イベント後にはみんなで一緒に会食として昼食をとり異年齢交流を行っている。

地域の祭り見学や地域交流会、図書館の読み聞かせ参加など地域資源を活用している

町内会の祭りでは神輿担ぎを見学したり、ハロウィンの時期には職員と一緒に折り紙や紙を使っておばけ制作をするなど少しずつ行事の手伝いを通して作品作りを行っている。地域交流のクリスマス会参加や図書館の読み聞かせコーナーでの絵本読みの参加など、地域資源の活用も取り入れている。お正月のお餅つきは子ども用に段ボールと紙で杵とうすを作成し、小麦粉粘土をお餅に見立てて餅つきを行うなど、全園児が参加できるような季節を感じる活動を年間通して行っている。

保護者会で行事の目的やねらいを伝え行事後には感想を募り次につなげている

保護者会では行事の目的やねらいを伝え、保護者参加の行事においては事前に園だよりや口頭で告知し、行事後には感想を任意で募り次の行事に生かすようにしている。今年度は区の地域センターを借りて、保護者が子どもと一緒に「親子で遊ぼう会」を行い、絵本をベースにして子どもたちが今遊んでいるものを競技形式にして親子で遊び抱っこするなど、親子で触れ合うイベントを行った。子どもの行事は、行事壁新聞として活動の写真や様子を書いて園内に大きく掲示して伝えている。

5 評価項目5

在園時間の異なる子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○○)

評価		標準項目	
◎あり ○なし		1. 在園時間の異なる子ども同士が楽しく遊べるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし		2. 在園時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当

<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 在園時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>延長保育ではくつろげる環境を提供できるように配慮している</p> <p>子どもたちの成長・発達に応じた玩具の設定を行い、朝夕の合同保育では異年齢児で一緒に過ごすことに無理がないように遊びのコーナーや、空間などを設定していくことで、子どもたちが各自好きなことをして過ごせるような配慮をしている。延長保育の時間帯は合同前にリズム遊びなどをしてメリハリをつけ、合同になった時は静の遊びに移るようにして家庭的な雰囲気の中でスキンシップをとるなど、ゆったりと安全に過ごせるようにしている。</p> <p>子どもの様子等について申し送りを行い合同保育時間も楽しく過ごせるようにしている</p> <p>延長保育の引き継ぎは、職員間で登降園表を活用して日中の子どもの様子や状況について申し送りを行い、担当職員が変わっても子どもが楽しく過ごせるように努めている。日頃から異年齢での活動等を通してクラス以外の子どもたちや担任以外の職員との関わりが多くあることから、合同保育時間でも異年齢で楽しく過ごすことができている。降園時は、保護者に連絡帳に記述した内容とともに、口頭で保育の様子を伝え情報共有を図っている。</p>		
評価項目6		
子どもが安全な環境のもと食事を楽しめるよう配慮している		評点(○○○○○)
評価項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 1. 子どもが安全に食事をとれるよう配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 2. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 3. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 4. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 5. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>落ち着いた雰囲気の中、発達に合わせた食事を提供している</p> <p>子どもたちの成長・発達に合わせてテーブルやイス、食具を準備し、落ち着いた環境の中、安心して食事が出来るように、決まった場所でなるべく同じ職員と一緒に食事をするよう配慮している。離乳食から2歳児までは6種類のメニューを作成し、月齢や個人の発達に合わせて提供している。離乳食の子どもは、初めての食材を保育園で食すことが無いよう、家庭と連携して進めるよう配慮している。また、食事をする時にも、試していない食材の児童同士が接触しないよう注意を払っている。</p> <p>栄養士と職員が連携し子どもの嗜好の把握や食育を行っている</p> <p>昨年の秋から法人独自の献立を作成し、季節に合わせて栄養バランスを考慮しておやつも手作りで提供している。栄養士は献立会議や栄養士会を通して子どもの嗜好の把握に努め、献立に反映するようにしている。また、給食年間計画表を作成し、季節の食材を見て触れる機会を通じ自然の恵みや感謝の気持ちを味わう活動を行っている。食事の提供時は職員が子どもの食べる様子をみながら量を調節して提供することで食べきれた満足感を味わえるようにしている。</p>		
評価項目7		
子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(○○○○)
評価項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし 2. 子どもの体調変化(発作等の急変を含む)に速やかに対応できる体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当

◎あり	○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	○なし	4. 子どもの入退所により環境に変化がある場合には、入所している子どもの不安やストレスが軽減されるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

子ども一人ひとりが安心・安全に過ごせるように取り組んでいる

看護師は保健年間計画を作成して子どもの成長・発達に合わせながら、手洗いやうがいを習慣となるように生活に取り入れ風邪などの予防や清潔を保つことを知らせている。安全面では、遊具の使い方や、散歩先までの往復の道を歩く時に、交通ルールを知らせることで、危険や安全への意識を持てるようにしている。また、お散歩ルートで自転車の交通量が多い場所には警察署に依頼して注意喚起の看板を設置してもらうなど安全確保に努めている。

看護師を中心に全職員が子どもの健康管理や救急対応ができるように取り組んでいる

緊急時、すぐに適切な病院への受診ができるように一覧を作成して事務所に掲示して活用している。熱性けいれんや、嘔吐の処理や対応などはマニュアル化して、全職員が共通理解のもと対応している。アレルギー児などの医師処方の薬を預かる際には、医師の指示書を提出してもらい、薬と一緒に保管して、使用時は医師の指示に従って基本は看護師が処置することとしている。また、救急救命講習やSIDS対策講習などの受講や定期的な園内勉強会を通して知識の習得や確認を行っている。

子どもの健康維持に向けた情報や感染症予防などを保護者に伝えている

入園前には保護者に園のしおりを用いて健康管理やSIDS予防について説明を行い、入園後は毎日の午睡時にSIDS対策として0歳児は5分おき、1・2歳児は10分おきに各クラスで個別に睡眠チェックを行っている。内科健診や歯科健診、毎月の身体測定の結果は「健康のための家族連絡カード」に記入し保護者から確認印をもらっている。またその際に保護者から予防接種を受けたものを記入してもらい、園でも個別に健康診断記録を記入して健康記録ファイルに保管している。一方で毎月の保健だよりを通して、感染症などの情報提供を行っている。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
◎あり	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり	5. 保護者の養育力向上のため、保育施設の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

保護者の就労状況などに応じて延長保育を利用してもらえるよう支援している

入園時の個別面談の際に保護者の就労や家庭の状況について聞き取りを行い、「新入園時面談記録」などに記録し、個別の事情を把握するようしている。延長保育や随時利用ができるスポット延長保育に対応し、急な残業時などには利用してもらえるよう支援を行っている。日頃の保護者の子育てに関する疑問や悩みには送迎時に話を聞いたり、「連絡ノート」を活用するほか、個別面談を行うなど、園と家庭が連携して最善の対応ができるよう配慮している。

園だよりや保護者会を通して保護者とのコミュニケーションを図っている

毎月の園だよりでは、クラスごとに子どもの成長や、今取り組んでいる活動を写真付きで伝えている。給食だよりでは次月の献立表とともに食の栄養知識、栄養バランスのよい食品の組み合わせやドバイスを伝えている。また、保護者からのリクエストや子どもが好きなレシピを保護者に提供している。保護者会では園の日頃の様子を知ってもらうとともに、クラスごとで保護者同士が話す時間を作り、知り合うきっかけとしている。また、保育の様子は年2回の写真販売で購入する機会を設けている。

園と保護者がさらに連携して子どもを育成する体制作りを目指している

年2回の保護者会の前には保護者に事前にアンケートを行い、栄養士・看護師・担任それぞれの質問を受け、内容により全体保護者会時や個別に回答し、子どもの発達や育児などについて共通認識を得る取り組みを行っている。また、日ごろから朝夕に保護者に連絡帳や口頭で子どもの様子を伝え、24時間を通して子どもの姿をお互いが把握し共通理解を持てるようにしている。さらに定期的に保育参観、個人面談の時間を設けて共通認識や信頼関係を築くよう期待される。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
◎あり	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

<input checked="" type="radio"/> あり	<input type="radio"/> なし	2. 保育施設の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評			
<p>近隣の5か所の公園を利用しながら、さまざまな体験ができるよう援助している</p> <p>天気のよい日は散歩によく出かけており、地域資源の一つとして近隣5か所の公園を利用している。季節によっては花を見て楽しんだり、落ち葉や木の実を持ち帰り落ち葉のシャワー、寝転んで落ち葉を布団にする、昆虫探しをするなど、四季を感じることができるようしている。公園は目的や状況に合わせて行き先を決めており、さまざまな体験ができるようにしている。散歩ルートについては、最近、区と警察と園の3者で確認して改善点を出すなど、地域と連携しながら子どもの安全確保にも努めている。</p> <p>町会に加入しており、町内の行事に参加している</p> <p>園は町会に加入しており、地域の運動会や防災訓練など町会の行事には職員が参加している。子どもも、できる限り地域行事を体験できるようにしている。また、「親子で遊ぼうかい」を開催して地域の親子に呼び掛けたり、区のセンターで地域向けのクリスマス会なども実施している。法人内の他保育園の多目的室を利用して、リトミックや体操教室も開催しており、法人としても地域との交流に努めている。</p>			

III 利用者保護に関する項目

利用者保護に関する項目		標準項目実施状況	7/9											
1 評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある						
評価	標準項目													
◎あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている													
◎あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある													
2 評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、認識を共有し、組織的に防止対策を徹底している</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、認識を共有し、組織的に防止対策を徹底している	◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている						
評価	標準項目													
◎あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、認識を共有し、組織的に防止対策を徹底している													
◎あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている													
3 評価項目3 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(○○○○○)												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる</td> </tr> <tr> <td>◎あり ○なし</td> <td>5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目	◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる
評価	標準項目													
◎あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている													
◎あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている													
◎あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している													
◎あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる													
◎あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる													
利用者保護の講評(※利用者保護の内容から3つ(必須)記載してください)														
<p>苦情等の相談先については、さらなる周知が必要と思われる 入園時には「ご意見・ご要望を解決するための仕組みについて」として苦情解決責任者、受付担当者、第三者委員を記載し、説明している。また、意見箱も設置している。しかしながら、ホームページでは公表されておらず、また、区などの相談窓口についても記載はない。保護者アンケートにおいても「困ったときに、職員以外の人にも相談できることをわかりやすく伝えてくれたか」との問い合わせに「はい」と回答したのは60%強に留まっており、中には「いいえ」という回答も見られた。機会があるごとに外部の窓口について伝えていくことが必要と思われる。</p>														
<p>入職時の研修及び定期的な園内研修によって意識を高めている 園での虐待防止については、入職時の研修や定期的に行う園内研修で、意識を高めている。また、「職員の心得」においても「子どもの名前を呼び捨てにしない」「叱るときは人格を傷つけずに行行為のみ叱る」「体罰やそれと疑われるような行為はしない」の3点を謹い、子どもの人権を尊重した保育を行なうよう周知に努めている。また、虐待を受けている疑いのある事象を発見した場合は、児童相談所や区と連携する体制がある。</p>														
<p>緊急時の対応マニュアルをもとに事業継続計画の充実に取り組んでいる 園ではさまざまなリスクを想定して取り組んでおり、マニュアルも整備している。事故が発生した場合は事故簿に記入するとともに、全職員に朝礼で周知し再発防止に努めている。事故後は保護者と連絡をとり状態を伝えている。避難訓練は年間計画に従って毎月行っており、火災の発生場所を変えたり、散歩先での地震や津波を想定した訓練なども行っている。また、全職員が消防庁の救命講習認定証を取得している。事業継続計画については、緊急時対応マニュアルをベースとして、更なる充実に取り組んでいる。</p>														

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-2-2	サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている
タイトル①	慣らし保育により、保護者も子どもも園の生活に少しずつ慣れてもらうようにしている	
内容①	<p>保護者の仕事の復帰に合わせながらではあるが、保護者も子どもも少しずつ園に通う生活に慣れてもらえるように、慣らし保育を取り入れている。最初の2日間は半日、3日目はお昼ご飯を食べる、4日目はお昼ご飯の少し後まで、5日目は午後4時ごろまでと1週間程度かけて、親子ともに保育園に通う生活に慣れてもらえるように配慮している。ただし、子どもの状況によっては、さらに延長したり、保護者の都合などにも合わせて個別対応にしている。また、保護者に口頭や連絡帳で子どもの様子を知らせて情報共有を図っている。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	五感を育み感受性豊かで健全な心身の発達を図っている	
内容②	<p>園の保育方針でもある、「五感を育み感受性豊かで健全な心身の発達を図る」よう子ども一人ひとりの成長・発達に応じて、音を鳴らす、体を動かす、紙の上にクレヨンで描くなどの機会を多く取り入れるようにしている。天気の良い日はすすんで戸外活動を取り入れ、その際には近隣の5つの公園の特徴を記載したおさんぽマップを使用して子どもが遊びたい目的に沿って選べるように配慮している。神社では落ち葉遊びやドングリ拾いなど、子どもの心身の発達が促されるよう取り組んでいる。</p>	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者とのコミュニケーションを大切にしている	
内容③	<p>小規模保育園であることから、職員は担任のクラス以外の保護者や子どもについてもよく周知しており、特に主任は保護者全員と話をしても今後もコミュニケーションを深めていきたいとしている。連絡帳や毎月の園便りでも子どもの様子を伝えるように努めている。また、離乳食やトイレトレーニングなどについては、家庭と歩調を合わせながら無理せずに進めるようにするなど、保護者とのコミュニケーションを大切にしている。</p>	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	小規模保育を生かし、子どもが主体的に活動できるようきめ細かい保育をしている
	内容	小規模保育の特徴を生かし、日頃から子どもたちの成長・発達に合わせた保育を心がけている。1歳児は年齢でクラス分けるのではなく、月齢や個別の発達に合わせて2歳児クラスと一緒に保育することでクラスの人数を増やして社会性を育み、人数が減った1歳児クラスではさらに細やかな保育が行えるように配慮している。異年齢交流では、いたわりや憧れの気持ちを育むことができるような保育を心がけ、玩具は手作りのキッチン道具やブロック遊びなど子どもが遊びたいものを随時提供し、主体的に能力を発揮できるよう個々に合わせた対応を心がけている。
2	タイトル	保護者と確認の上、食物アレルギー等に配慮した食事を提供している
	内容	アレルギー児に対しては、医師の診断書を基に除去・代替食を提供している。個別の献立を作成し、栄養士・施設長・主任・担任・看護師で毎月アレルギー会議を開き、内容を確認した上で保護者にも確認・配布をしている。食事に関しては複数回の確認を行い、食事は専用トレー（名前・除去食材を明記）や、柄付きの食器（他児は無地）を使用し、介助者は専用割烹着を着用して事故防止に努めている。行事食にはアレルギーの食材を使用しないメニューでみんなと同じ食事が食べれるようになるなど配慮している。
3	タイトル	具体的でわかりやすいマニュアルを作成している
	内容	マニュアル類は分かりやすく具体的である。職員の心得、屋内の保育、園外の保育、食事について、排泄について、長時間保育、延長保育など、園の職員として知っておくべき事項について網羅した具体的なマニュアルがあり、職員に配布とともに、いつでも閲覧できるようにしている。また、「保育書類 書き方マニュアル」では、月案、週案、日案、保育日誌、連絡帳について書き方のポイントと見本まで掲載されており、大変分かりやすく、記録の標準化につながると思われる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	定期的な保育参観や個人面談でさらなる信頼関係を築くことが期待される
	内容	春の保護者会の前には保護者に事前にアンケートを行い、栄養士・看護師・担任それぞれの質問を受け、内容により全体保護者会時や個別に回答し、子どもの発達や育児などについて共通認識を得る取り組みを行っている。また、日ごろから朝夕に保護者と連絡帳や口頭で子どもの様子を伝え、24時間を通して子どもの姿をお互いが把握し共通理解を持てるようにしている。さらに定期的に保育参観、個人面談の時間を設けて共通認識や信頼関係を築くよう期待される。
2	タイトル	外部の苦情相談窓口について周知を検討することが必要と思われる
	内容	玄関に意見箱を設置し、入園時には「保育園のしおり」の中の「ご意見・ご要望を解決するための仕組みについて」という事項で説明しているが、区などの窓口については記載がない。また、ホームページでも苦情受付については公表されていない。保護者アンケートにおいても「困ったときに、職員以外の人にも相談できることをわかりやすく伝えてくれたか」との問い合わせに「はい」と回答したのは60%強に留まっており、中には「いいえ」という回答も見られた。今後は、機会があるごとに外部の窓口についても周知することが期待される。
3	タイトル	緊急時の対応マニュアルをもとに事業継続計画の充実に取組んでいる
	内容	BCP（事業継続計画）については、取り組みを始めたところである。先般の風水害や最近の新型コロナウィルスなど、これまで予想できなかつたような状況も起きていることを鑑み、さまざまなリスクを想定した事業継続計画の策定は不可欠と思われる。緊急時対応マニュアルをベースとして、更なる充実に取り組んでいる。現在すでに取り組みを始めているので、策定したうえで、職員や保護者、関係機関の理解を得ることが期待される。